

# 亀塚遺跡・向田遺跡発掘調査通信

1月下旬より実施しておりました、亀塚遺跡・向田遺跡の発掘調査が無事終了しました。近隣の皆さまのご理解・ご協力に感謝致しますとともに、ここに調査成果の最終報告をさせていただきます。

## 向田遺跡

向田遺跡では、調査区の南側（右写真の手前）は、古墳時代の遺構が数基確認できたものの、北側は粗い砂や粘土など流路や池のような水成堆積が深くまで観察されました。おそらく、近年まで水辺のような環境であったと考えられます。

南側では、炭化物が帯状に堆積した土坑（右写真）が見つかりました。炭の上に土器（甕）があり、同じ場所で複数回にわたり、何かを焼いていたと考えられます。



令和元年度 亀塚遺跡・向田遺跡発掘調査通信

編集  
配布



公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団  
愛知県埋蔵文化財センター  
HP <http://www.maibun.com/>

調査  
支援

株式会社アコード

令和2年 3月16日 配布

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802 の 24  
電話 (0567) 67-4163 【調査課】  
Twitter [https://twitter.com/aichi\\_maibun](https://twitter.com/aichi_maibun)  
Facebook <https://www.facebook.com/maibunaiichi>

〒550-0003 大阪市西区京町堀1丁目10番14号  
電話 (06) 6445-0557  
<https://www.a-accord.co.jp>



## 亀塚遺跡

亀塚遺跡では、前回の発掘通信で報告しましたように、古墳時代前期の河道が見つかり、そこから多くの土器や木製品が出土しました。その後、河道の下層を掘り進めてゆくと、さらに多くの貴重な遺物がみつかりました。その中でも特筆すべきものが、赤く塗られた<sup>ぬ</sup>2枚の板です。

これらの板は木製盾の一部です。板の表面には無数の穴があけられており、穴と穴の間を糸で綴じ<sup>と</sup>複数枚を組んで、一つの盾とするのです。

また、河道のすぐ北で1棟の<sup>とう たてあな</sup>竪穴住居がみつかりました。、出土した土器などから、同じ古墳時代前期と考えられます。また、この竪穴住居からは、<sup>どうぞく</sup>銅鏃が1点出土しました。

亀塚遺跡では1977年の調査で重要文化財にも指定された人面文土器が出土していましたが、今回も貴重な遺物が出土し、その価値を再確認するに至りました。

今後も、埋蔵文化財調査へのご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

